



プール水活水化設備設置 きれいな水で、水泳ワクワク — 矢代田小学校 —

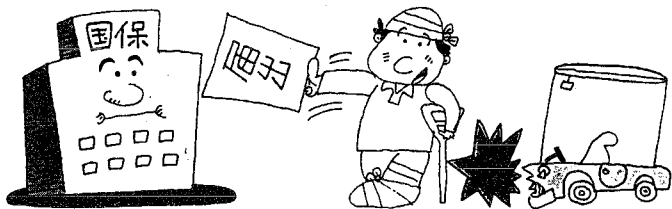
矢代田小学校のプールの水が、今シーズンから少し変わりました。「プール水活水化設備」を設置したことにより、大腸菌が大変少なくなり、きれいになりました。シーズン中、水の交換をしなくても、いつも清潔なプールを維持でき、子供達も安心して水泳を楽しむことができます。

交通事故等、第三者の行為によってけがをした場合で、保険診療をうけようとする時は、必ず事前に国保の係へ届出して承認を受けてください。また、示談を希望する時は、示談の内容によっては、国保が加害者に対し、医療費の請求ができません。必ずしもその内容を届出する必要があり、示談はあわてて結ぶ必要

はありません。

〈医療費は加害者負担〉

交通事故のように、第三者の行為によって病気になったり、けがをした場合、被害者に重大な過失のない限り、医療費は全額加害者が負担すべきものです。もちろん、国保を使って治療をうけることはできますが、その医療費は、あとで国保が加害者に請求し、返してもらうことになります。



警察では、八月中一ヶ月間、**「行方不明の人を捜す相談所」**を下表のとおり開設します。皆さんの家族や知り合いの人で、**○病气などを苦にして家出をした。**
○外出したまま行方が分からなくなった。

行方不明の人を捜す 相談所（無料） 開設のお知らせ

●巡回相談所（午前九時から午後五時まで）
●常設相談所（午前9時から午後5時、土曜日は午後0時30分まで）
●月日巡回相談所開設日と休日を除く八月中（場所）県警察本部鑑識課 新潟市新光町四番地 一（〇二五二八四一三三二二五三七・二五三八）

月日	場所
8月2日(火)	新発田警察署 (〇三六三三三三三三三三三三)
8月3日(水)	三条警察署 (〇三六三三三三三三三三三三)
8月5日(金)	長岡警察署 (〇三六三三三三三三三三三三)
8月8日(月)	上越北警察署 (〇三六三三三三三三三三三三)

●巡回相談所（午前九時から午後五時まで）

八月は食中毒の 多発時期です

今年も、全国・県内各地において食中毒が発生しています。七月十六日から八月十五日までは食品衛生月間、八月一日から七日までは食品衛生週間です。この期間中はもちろん、普段

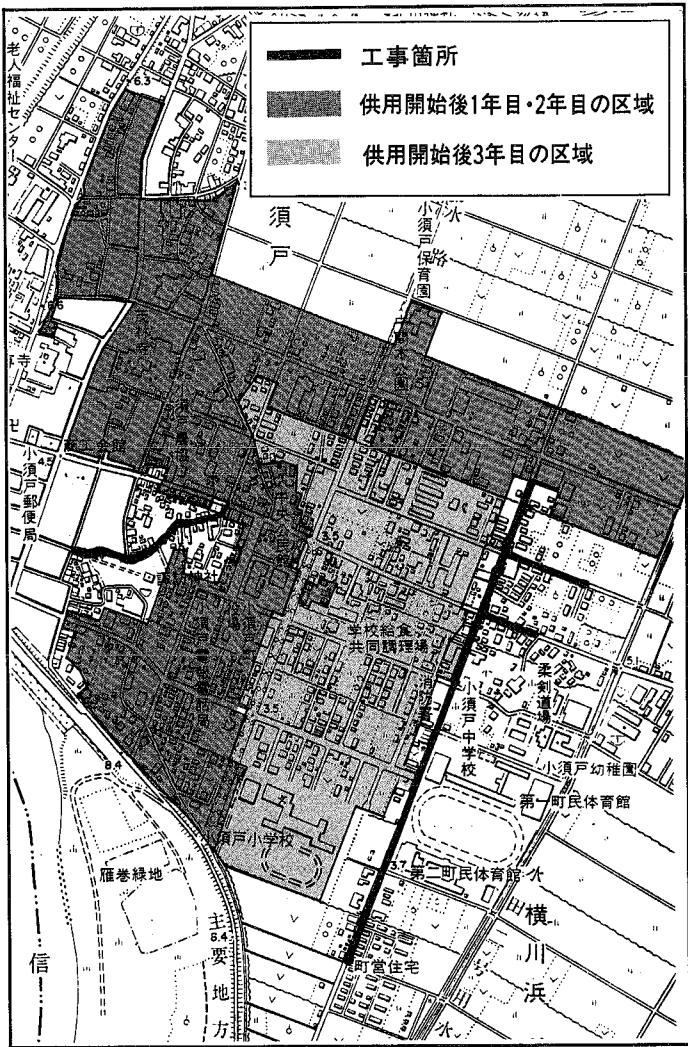
から「食中毒予防三原則」を守り、食中毒発生0件にするよう努力いたしましょう。
食中毒予防三原則
一、細菌をつけない
○台所はいつも清潔に

- 手をしっかりと洗う
- 材料は新鮮なものを
- 水洗いできるものは必ず水洗いを
- 二、細菌を増やさない
- 新鮮な材料をできるだけ早く調理。そして、早目に食べる
- 食品は低温保存。
- 冷蔵庫、冷凍庫の詰めすぎは危険、事故のもとです。
- 三、細菌を殺す
- 加熱食品は、中まで熱を通すように充分加熱する。

国民健康保険 交通事故にあつたら 必ず国保に届出を

下水道工事のお知らせ

下水道工事は、すでに中央町一丁目地内で行っておりますが、左図の箇所でも工事を行います。工事は、今月より逐次工事が進められますので、工事期間中はご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。



下水道の排水設備(水洗化)工事はお早目に

公共下水道の整備は徐々に進んでおり、これに伴い排水設備工事が可能な区域も広がっております。町では、この排水設備工事を供用開始公示後3年以内に工事着手されるようお願いしているところで、一番早い供用開始(S61年8月1日)の区域は、3年目に入りました。この区域で、まだ排水設備を設置されていない方は、早く工事に着手されるようお願いいたします。また、2年目、1年目の区域の方々も早目に行われるようお願いいたします。

お盆のごみ・し尿 業務について

●八月十五日(月)はお盆のため、し尿業務は休みます。ご協力をお願いします。
●八月十五日(月)は第三月曜日であるため、本来ならば、横川浜・小向・水田・文京町・新保・童安・小須戸のガラス・セトモノ類回収の日ですが、お盆で業務を休むため、十九日(金)に振りかえて回収します。お間違いのないようお願いいたします。

8月10日は 「道の日」です

昭和六十一年度より八月十日を「道の日」として、道路の意義、重要性に対する国民の関心と道路愛護の精神を高めるため、様々な行事が実施されています。八月十日が「道の日」に選ばれた理由は①大正九年八月十日にわが国で最初の道路整備についての長期計画である第一次道路改良計画が実施されたこと。②広く一般国民に定着している「道路をまもる月間」(八月一日～三十一日)の期間中であることなどです。

道路は、私たちの生活を豊かにするために、欠くことのできない基本的施設ですが、欧米諸国と比べると二分の一以下の整備水準であり、まだまだ遅れています。二十一世紀に向けて、急速な高齢化など国民生活を取り巻く環境の変化に対応して、真に豊かな国民生活を実現するために、今こそ積極的な道づくりが求められています。

八月十日の「道の日」をきっかけにもう一度見直してみたいものです。